

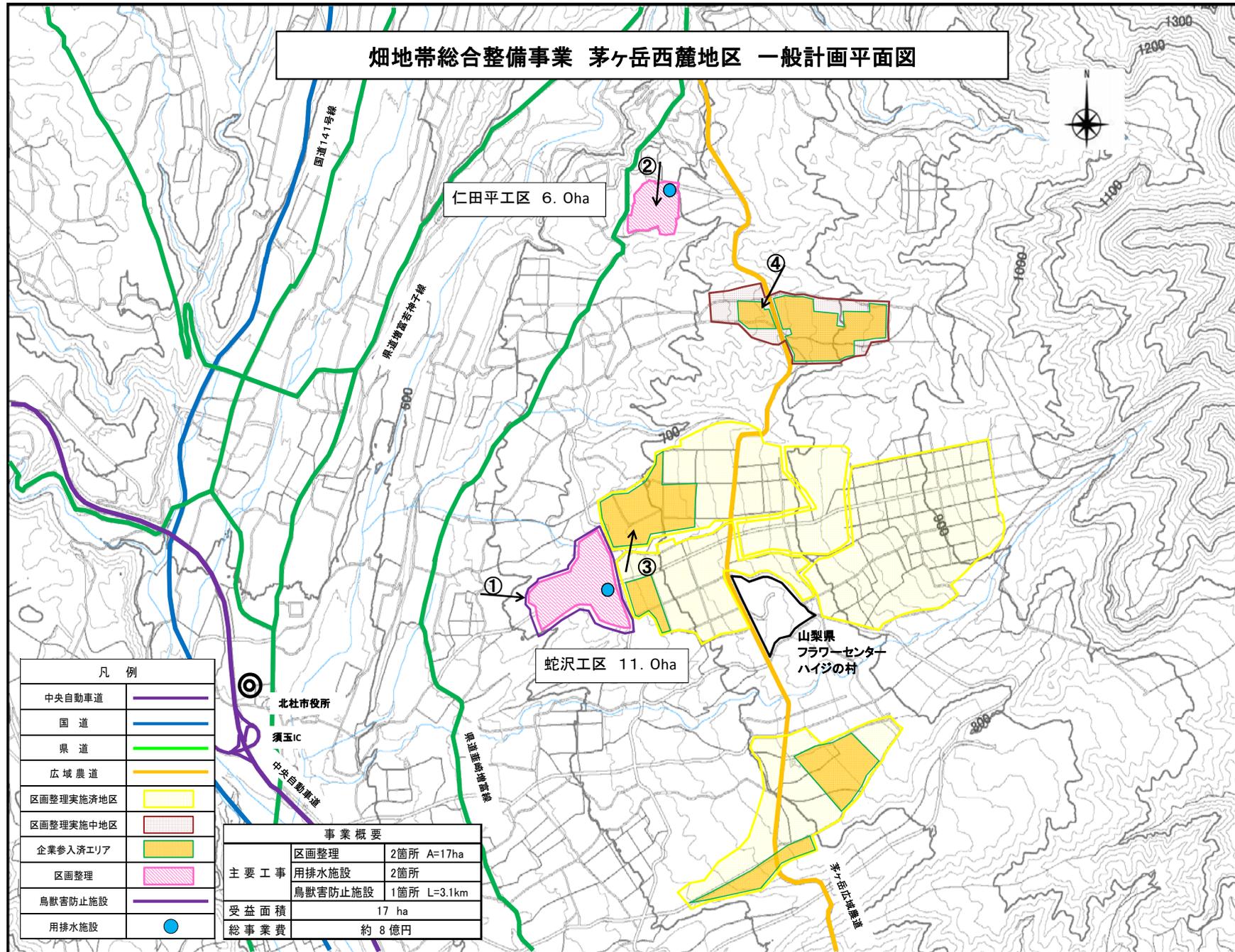
NO. 2 事業名 畑地帯総合整備事業（国補）

箇所・地区名 かや が たけ せい ろく
茅ヶ岳西麓

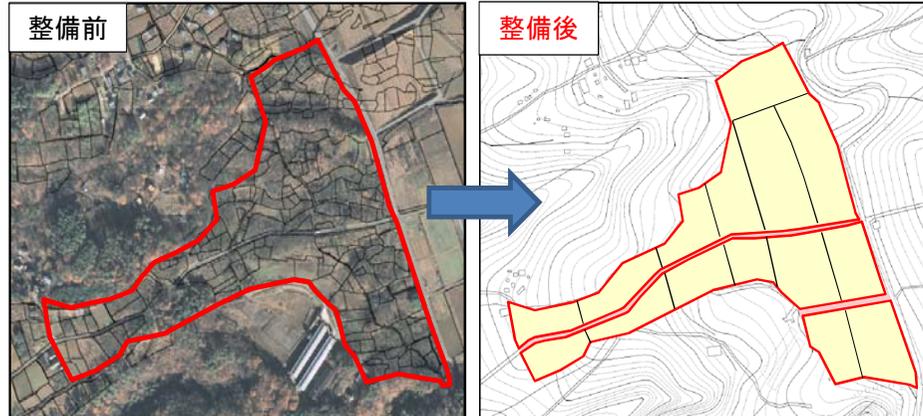
1. 事業評価説明シート

事業名 畑地帯総合整備事業(国補)	事業箇所 北杜市明野町、須玉町	地区名	かやがたけせいろく 茅ヶ岳西麓	事業主体	山梨県															
<p>(1) 事業概要</p> <p>①課題・背景 本地域はかつて多くの農地が桑園であり、養蚕業の衰退により荒廃農地が増える状況であったが、畑地かんがい施設の整備や区画整理により、企業、観光農園、担い手農家といった利用目的別に集約化するなど、基盤整備を契機とした農業振興と地域活性化において一定の成果が得られている地域である。 一方、本地域には、まだ多くの担い手が参入を希望している状況であると同時に、整備済みエリア周辺には、小区画、不整形などの条件不利地を中心に、整備水準が低い農地も点在している。 このことから、基盤整備により営農条件を改善し、新たな担い手に提供可能な優良農地を確保することが急務となっている。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○農業生産力の向上 ・農業所得増加額 12,822千円/ha\geq2,426千円/ha※</p> <p>□副次目標 ○農業用排水能力の向上 ・施設老朽度 $-\infty \leq 0$年 ※ ・(計画排水能力0.05m³/s)÷(現況排水能力0.01m³/s) =5.0\geq1.0※ ○鳥獣被害の軽減 ・被害軽減額16,185千円/年÷9.4ha =1,721千円/ha・年\geq490千円/ha・年 (※評価基準値)</p> <p>□副次効果 ○遊休農地の解消 ○果樹園景観の保全 ○重要プロジェクトとしての位置づけ (新・やまなし農業大綱)</p>			<p>(3) 事業の妥当性評価 妥当・妥当でない</p> <p>①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・本地区は食料・農業・農村基本法に位置づけられている農業の持続的発展、食料の安定供給、多面的機能の発揮に資することから行政が行うべきである。</p> <p>②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・土地改良法施行令第50条第4項により県が事業主体となつて行うべきものである。</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 費用便益費 便益(B)/費用(C)=2.27>1.0 ・便益(B)=1,976百万円、・費用(C)=869百万円</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・営農条件を改善する上で必要な整備量としている。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・受益面積規模、事業対象工種から、畑地帯総合整備事業で対応することが妥当である。</p> <p>⑥環境負荷への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・工事の際は、環境等への影響を最小限にするよう措置を講じる。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> ・早期着工の要望有り</p> <p style="text-align: center;">総合評価 [貢献度ランク：a] <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p>																	
<p>(2) 整備内容と整備量</p> <p>①整備内容 区画整理 A=17ha、用排水施設 N=2箇所、 鳥獣害防止施設 1箇所</p> <p>②整備期間 平成29年度～平成33年度</p> <p>③総事業費 約8億円 (国費4億円(5/10) 県費2億円(2.5/10) 市費2億円(2.5/10))</p> <p>④全体計画 (年度別整備内容) (事業費)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>平成29年度</td> <td>測量・設計</td> <td style="text-align: right;">50百万円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>区画整理、鳥獣害防止施設</td> <td style="text-align: right;">230百万円</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>区画整理、鳥獣害防止施設</td> <td style="text-align: right;">240百万円</td> </tr> <tr> <td>平成32年度</td> <td>区画整理</td> <td style="text-align: right;">230百万円</td> </tr> <tr> <td>平成33年度</td> <td>用排水路</td> <td style="text-align: right;">50百万円</td> </tr> </table> <p>⑤既整備内容・期間・事業費 ・該当なし</p>			平成29年度	測量・設計	50百万円	平成30年度	区画整理、鳥獣害防止施設	230百万円	平成31年度	区画整理、鳥獣害防止施設	240百万円	平成32年度	区画整理	230百万円	平成33年度	用排水路	50百万円	<p>【事業位置図等】</p>		
平成29年度	測量・設計	50百万円																		
平成30年度	区画整理、鳥獣害防止施設	230百万円																		
平成31年度	区画整理、鳥獣害防止施設	240百万円																		
平成32年度	区画整理	230百万円																		
平成33年度	用排水路	50百万円																		

2. 添付資料シート(1)



2. 添付資料シート(2)



① 不整形で狭小なほ場を集積し、大規模経営を主体としたぶどうや野菜の生産を推進する。



② 区画整理エリアは狭小かつ不整形であり、農地条件が悪いため、遊休化した農地が点在している。



③ 地区周辺では、企業の参入により、農地集積されたほ場で醸造用ぶどうの生産が行われている。(蛇沢工区 営農イメージ)



④ 企業参入によるトマトの施設栽培
(仁田平工区 営農イメージ)